

「コロナ後遺症外来の立ち上げと現状から」

岡山大学病院 副病院長

総合内科・総合診療科 教授 大塚 文男



未だ収束の見えない新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の流行の中で、急性期以降に多彩な症状をもたらすコロナ後遺症も臨床的に重要な病態である。「Long-COVID」・「PASC（post-acute sequelae of COVID-19）」とも呼ばれ、倦怠感を中心に、味覚・嗅覚障害、頭痛、不安、脱毛、睡眠障害、呼吸苦、微熱など様々な後遺症状を呈する。我々の診療科では中等症～重症例を中心に多くの急性期 COVID-19 の診療を行ってきたが、急性期以降にも様々な症状で苦しむ患者と、そのマネジメントに苦慮する場面を多く目にしてきた。このような患者の受け皿として、専門外来「コロナ・アフターケア（CAC）外来」を 2021 年 2 月に設立した。当科の強みを生かして総合的・全人的な診療を行い、他診療科とも連携しながら行ってきた診療経験から、コロナ後遺症の現状とその病態・治療についてお話ししたい。

【 略歴 】

- 1992 年 3 月 岡山大学医学部医学科 卒業
- 1998 年 3 月 岡山大学大学院医学研究科 修了
- 1999 年 9 月 米国カリフォルニア大学サンディエゴ校医学部研究員
- 2009 年 5 月 岡山大学病院内分泌センター 准教授
- 2011 年 4 月 岡山大学病院内分泌センター センター長
- 2012 年 4 月 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科総合内科学 教授
- 2015 年 4 月～ 岡山大学病院検査部長・輸血部長・超音波診断センター長 併任
- 2017 年 4 月～ 岡山大学病院副病院長

主な受賞歴：

- 2003 年 日本生殖内分泌学会学術奨励賞受賞
- 2009 年 日本内分泌学会研究奨励賞受賞
- 2011 年 日本神経内分泌学会学術賞（川上賞）受賞
- 2017 年 日本ステロイドホルモン学会研究奨励賞受賞

所属学会：

- 日本内科学会（認定医・専門医・指導医・評議員・中国支部運営協議会委員）
- 日本内分泌学会（専門医・指導医・評議員・教育責任者・中国支部副支部長）
- 日本甲状腺学会（専門医）、日本リウマチ学会（専門医）、日本生殖内分泌学会（理事・評議員）、日本神経内分泌学会（常務理事・評議員）、日本病院総合診療医学会（理事・認定医・評議員）、日本プライマリケア連合学会（認定医・指導医）、日本ステロイドホルモン学会（理事）、日本間脳下垂体腫瘍学会（理事）、間脳・下垂体・副腎研究会（幹事）、副腎腫瘍研究会（幹事）、日本心血管内分泌代謝学会、日本内分泌病理学会、日本人類遺伝学会、日本東洋医学会、日本抗加齢医学会、日本臨床検査医学会、日本下垂体研究会（評議員）、米国内分泌学会（active member）、欧州内分泌学会